

授業科目名・形態	医療と福祉のマネジメント 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	石岡和志・石川セツ子・大館市職員	実務経験の有無	有	開講期	1～2年後期

【授業の主題】

少子高齢化や価値観の多様化による社会構造（家族構成、働き方など）の変化に対し、国や地公共団体は国民（市民）の福祉の維持向上のため様々な政策・施策を展開しています。

本授業では、大館市役所の職員が講師となり、福祉行政を中心に、市役所の役割・議会との関係なども含め、仕事の内容、直面している課題とその取り組みのほか、市の政策決定システムなど生の地方行政を学びながら、大学のあるこの地域への理解を促し、地域で活躍する人材を育成することを目的としています。

【到達目標】

福祉行政の実施体制やその実際を学び、医療福祉のマネジメントについて、医療・福祉の現場、地域などをそれぞれの側面から看護・福祉の専門職として求められる基本的な視点を身につける。

【授業計画・内容】

- 第1回 オリエンテーション～医療・福祉職がかかわるマネジメント（石岡）
- 第2回 自治体の危機管理体制（大館市 危機管理課）
- 第3回 市議会の役割（大館市 議会事務局）
- 第4回 市役所の役割と地域課題解決のための公共政策とは（大館市 企画調整課）
- 第5回 障害福祉計画の策定目的と実施内容（大館市 福祉課）
- 第6回 高齢者に対する支援（介護保険、高齢者福祉、在宅医療と介護連携）（大館市 長寿課・健康課）
- 第7回 児童虐待防止への取り組みについて（大館市 子ども課）
- 第8回 地方自治体の予算の仕組みと財政（大館市 財政課）
- 第9回 特別講義（ふるさと大館のまちづくりについて 大館市長）
- 第10回 地域保健対策の取り組み（大館市 健康課）
- 第11回 生活保護行政と動向（大館市 福祉課）
- 第12回 病院、医療組織とは（大館市立総合病院）
- 第13回 退院時における、地域連携の取り組みについて（大館市立総合病院）
- 第14回 在宅看護と地域連携について～退院後の療養生活を支援する訪問看護～（石川）
- 第15回 在宅生活を支えるケア・マネジメント（石岡）

【授業実施方法】

講義形式で行う。

【授業準備】

関連する科目の講義内容で学んだ制度を再確認しておくこと。

【主な関連する科目】

社会保障論、地方自治と財政、地域福祉論

【教科書等】

特に指定はしない。適宜資料を配布する。

【参考文献】

必要に応じて講義中に紹介する。

【成績評価方法】

レポート 60%、期末試験 40%で評価する。60%以上の得点で合格とする。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

福祉施設で介護職員として医療職と連携した業務を経験してきた。

介護の現場で医療職と連携した経験を活かし、チームマネジメントの大切さを伝えたい。

【学生へのメッセージ】

地方の福祉行財政の動向、福祉計画への取り組みに関心を持ちながら主体的に受講すること。また、市町村が地域住民に対して提供している医療、保健、福祉サービスの仕組みを理解できるようにすること。